

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【公開番号】特開2008-114556(P2008-114556A)

【公開日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2008-020

【出願番号】特願2006-302129(P2006-302129)

【国際特許分類】

B 4 1 J	2/485	(2006.01)
H 0 4 N	1/46	(2006.01)
G 0 6 T	1/00	(2006.01)
G 0 6 T	5/30	(2006.01)
H 0 4 N	1/60	(2006.01)
G 0 6 F	3/12	(2006.01)
B 4 1 J	5/30	(2006.01)

【F I】

B 4 1 J	3/12	Z
H 0 4 N	1/46	Z
G 0 6 T	1/00	5 1 0
G 0 6 T	5/30	B
H 0 4 N	1/40	D
G 0 6 F	3/12	Z
B 4 1 J	3/12	W
B 4 1 J	5/30	Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月9日(2009.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数色による画像形成を可能とする画像処理装置における画像処理方法であって、
前記画像処理装置の入力手段が、処理対象となる画像データを入力する入力ステップと、

前記画像処理装置の白抜き部検出手段が、前記画像データに含まれる白抜きラインを検出する白抜き部検出ステップと、

前記画像処理装置の背景色検出手段が、前記白抜きラインの背景色を検出する背景色検出ステップと、

前記画像処理装置の補正手段が、前記白抜きラインのサイズおよび前記背景色のトナー載り量に対応する該白抜きラインのサイズ補正值が示されたテーブルを用いて、前記画像データにおける該白抜きラインのサイズを補正する補正ステップと、

前記画像処理装置の出力手段が、前記補正ステップによる補正後の画像データを出力する出力ステップと、

を有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項2】

複数色による画像形成を可能とする画像処理装置であって、

処理対象となる画像データを入力する入力手段と、
前記画像データに含まれる白抜きラインを検出する白抜き部検出手段と、
前記白抜きラインの背景色を検出する背景色検出手段と、
前記白抜きラインのサイズおよび前記背景色のトナー載り量に対応する該白抜きラインのサイズ補正值が示されたテーブルを用いて、前記画像データにおける該白抜きラインのサイズを補正する補正手段と、
前記補正ステップによる補正後の画像データを出力する出力手段と、
を有することを特徴とする画像処理装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

すなわち、複数色による画像形成を可能とする画像処理装置における画像処理方法であって、前記画像処理装置の入力手段が、処理対象となる画像データを入力する入力ステップと、前記画像処理装置の白抜き部検出手段が、前記画像データに含まれる白抜きラインを検出する白抜き部検出手段と、前記画像処理装置の背景色検出手段が、前記白抜きラインの背景色を検出する背景色検出手段と、前記画像処理装置の補正手段が、前記白抜きラインのサイズおよび前記背景色のトナー載り量に対応する該白抜きラインのサイズ補正值が示されたテーブルを用いて、前記画像データにおける該白抜きラインのサイズを補正する補正手段と、前記画像処理装置の出力手段が、前記補正ステップによる補正後の画像データを出力する出力手段と、を有することを特徴とする。